

第2回大学教育研究集会

【主旨】近年大学教育改革は急速な勢いですすめられており、それに呼応して、大学授業の開発やFD（ファカルティ・ディベロップメント）、学生による授業評価、さらにはITの普及に伴う遠隔教育やe-Learningなど、さまざまな実践的・実証的研究が展開されています。私たちはこの実践に反省を加え、これを大学教育全体の知的資産として共有していかねばならないと考えます。

残念ながら、これまでの研究のなかには、ひとりよがりの事例報告や教育の技術面の提案に終始するもの、数字による武装はされているが何を問題にしているのか不明なものなども混在しています。「大学教育研究集会」は、大学における教育研究の交流の場として、これからの大学教育全体の知的資産を共有するにはどうすべきか、皆さまと一緒に考えていく場にしたいと考えています。

(1) 教育評価研究部会

座長：安岡高志・菅野憲司

< 教室E21 >

- ①岩崎 滋（ヒューマンマヤ）「IT講習2人講師制と4192人による評価」
- ②秦由美子（滋賀大学）「イギリスにおける教育評価」
- ③菅野憲司（千葉大学文学部）「評価差値（“Evaluation Gap Value”）」
- ④本岡直子・岩谷和夫・佐藤学・城本修・堂本時夫（広島県立保険福祉大学）
「広島県立福祉短期大学における入試方法・成績・学内成績・国家試験合否の関係」
- ⑤池田幸夫（山口大学教育学部）「イメージ変化図を用いた授業評価の試み」
- ⑥安岡高志（東海大学理学部）「教育評価の評価基準を定めよ」

総括講演：池田輝政（名古屋大学高等教育研究センター）

(2) カリキュラム研究/e-Learning・遠隔教育研究部会

< 教室E24 >

座長：鈴木真理子・西村昭治

- ①渡邊 裕（東京大学教育学部附属中等教育学校情報化）「中等教育学校の情報教育に関するカリキュラムとその変遷」
- ②倉島敬治（実践女子大学）・宇佐見忠雄（実践女子大学）「ひとりよがりのカリキュラム研究」
- ③西村昭治（早稲田大学人間科学部）「ブロードバンドを活用したe-learningによる通信教育課程実施について」
- ④永田智子（兵庫教育大学）・鈴木真理子（滋賀大学）・中原淳・西森年寿（メディア教育開発センター）・笠井俊信（岡山大学）「CSCL環境での多様な社会的相互作用によるポートフォリオ作成活動を取り入れた教員養成課程の授業実践と評価」
- ⑤鈴木真理子（滋賀大学）・永田智子（兵庫教育大学）・中原淳・西森年寿（メディア教育開発センター）・笠井俊信（岡山大学）・浦嶋憲明（三菱総合研究所）・森広浩一郎（兵庫教育大学）「多様な社会的相互作用を実現するWeb環境ポートフォリオの実践」
- ⑥村上正行（京都外国語大学）「多様な相互評価を導入した情報教育実践と評価」

総括講演：大山泰宏（京都大学高等教育教授システム開発センター）